

# 民主むろらん

日本共産党  
室蘭地区委員会

発行責任者  
毛利 敏  
室蘭市東町4-7-8  
電話(44)5573

## 常磐井市議が代表質問

### 青山新市長の基本姿勢を問う

#### 防災、国保・介護、教育など質問



開催中の第二回定例議会  
会では13日、常磐井茂樹議員が代表質問に立ち、青山  
剛新市長に対し、市政運  
営の基本姿勢、災害に強い  
まちづくり、国保、介護、  
子育て、教育行政など市  
政全般にわたり質問しま  
した。

常磐井議員は、市政運  
営の基本的姿勢について、  
「憲法と地方自治法の本旨  
にもとづいた市政運営を」  
求め、人事では「透明、公正  
で、ベテランと若手のバラ  
ンスのとれた人事」を求め  
たのに対し市長は、「地方自

治の本旨、基本理念を念頭  
に置く」と答弁。人事は「職  
員の意欲・能力を引き出し、  
適材適所で」と答えました。  
さらに、常磐井氏は、市長  
の市政方針は抽象的で、  
「市内の経済・雇用、市民  
生活の実態からの要求がま  
ったく見られない」と批判  
し、市民生活の実態に即し  
た市政運営を求めました。



ぜひお示しください  
倉田 新

### 消防職員の増員を

災害に強いま  
ちづくりで常磐  
井議員は、地域  
防災計画の見直  
し、公共施設の  
耐震化などを求  
め、災害時に住  
民の命と財産を  
守る消防職員の

### 被災者救援「原発からの撤退を」

#### 11日「大震災救援デー」街頭宣伝

3・11大震災からちよう  
ど3カ月の6月11日、党室  
蘭地区委員会は、大震災の  
「11日」を毎月救援デーと  
位置づけ、中島町アイラン  
ド前と東町弥生ショッピング  
センターの2か所で「被  
災者救援募金」と「原発か  
らの撤退署名」行動を行  
いました。これには各支部・  
後援会から多数参加、市  
民によびかけ、多くの署名  
と募金が寄せられました。



宣伝では「原発からの撤退を政府が決断し、原発ゼロにする期限を決めたプロ

充足率が基準の77.5%ま  
で低下していることを指摘  
し、増員し充足率を高める  
よう求めたのに対し市長は、  
「増員は難しい」と答弁。  
また、PCB処理施設や  
石油コンビナートの耐震化、  
津波や液状化対策について  
質したのに対し、市長は「P  
CB処理施設は新耐震基  
準で6〜7の震度に耐えう

る」液状化対策もとられ  
ている」と答えました。  
原発からの撤退求めよ  
原発問題で常磐井議員  
は、現存する原発の限定的  
な廃止と、再生可能な自然  
エネルギーへの転換につ  
いて市長の見解を求めると  
もに、1、原発からの撤退  
原発ゼロへのプログラムの  
策定、自然エネルギーの開  
発と普及・促進低エネルギ  
ー社会への移行、2、原発  
ゼロに至る期間に、考え得  
る限りのあらゆる安全対  
策をとる、3、強力な権限  
と体制をもち、推進機関か  
ら完全に分離独立した原  
子力の規制委員会を緊急  
に確立することの三点を、  
市長として政府に強く求  
めていくこと。また、意見

### 室蘭民商第50回記念定期総会

#### 住宅リフォーム制度など実現へ

室蘭民商の第50回記念  
定期総会が12日、中小企  
業センターで開催されまし  
た。  
田口清英会長は開会の  
挨拶で、大震災で東北の仲  
間が大勢犠牲になったこと  
を報告。今こそ組織を挙げ  
て民商の仲間を応援・助け  
合うことが大事とよびかけ  
るとともに、室蘭でも風評  
被害など影響は広がってお  
り、国民・中小業者の安心  
安全のためにも、近隣市長  
訪問要請など、要求実現に  
向け全力を尽くす決意を  
表明をすべきと、質しまし  
た。

述べました。  
日本共産党田村農夫成  
市議が来賓として挨拶し、  
今度の選挙で共産党市議  
団を誕生させていただいた  
ことにお礼を述べ、住宅リ  
フォーム制度の実現、小規  
模修繕登録制度の拡充、  
所得税法第56条の意見書  
採択に全力を尽くすこと  
を表明しました。  
大会には青山市長から  
の祝電も寄せられ、市内経  
済を底辺で支え頑張ってい  
ることへの感謝が届けられ  
ていました。

## 気仙沼の救援・復興へ

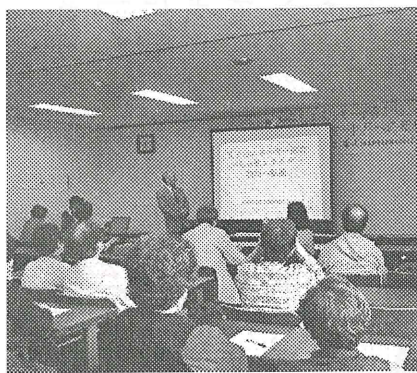
### ボランティア募集中

ボランティアの登録・問い合わせは  
日本共産党室蘭地区委員会内・大震災支援係  
☎0143-44-5573 Fax 43-2968

# 原子力から自然エネルギーへの転換を

## 新日本婦人の会が学習会

福島第一原発事故後、原子力発電から自然エネルギーへの転換が国民的関心となる中で11日、新日本婦人の会室蘭支部が主催する



「原子力エネルギー依存から自然エネルギー利用への転換」の学習会が中小企業センターで開かれました。講師の日本科学者会議

北海道支部室蘭分会長・室蘭工大名誉教授の橋本忠雄氏は、プロジェクトを使って、「福島第一原発は地震で壊れた」「外国は事故をどう見たか」「福島第一原発の現状」など、放射線障害や被曝による影響についても詳しく解説しました。橋本氏はさらに「住民は

福島原発事故から何を学ぶか」について、政府・東電などのいうことは殆んど信用できないし、情報は開示

されていないとのべ、原子力事故はこれからも必ず起こるとのべるとともに、自然エネルギーも地域に根ざした自然エネルギー利用が必要と述べました。30名の参加者からも活発な質問や意見が出されていました。

# 年金引き下げに怒りの宣伝 年金者組合と共産党が訴え

4月から年金が0.4%引き下げられて初めての年金支給日となった15日、中島町アイランドで年金者組合室蘭支部と日本共産党室蘭地区委員会は、宣

伝活動を行いました。この宣伝には年金者組合員や共産党支部・後援会から16人が参加、常磐井茂樹市議がマイクを手に、年金生活者や買い物客

に訴えました。

常磐井氏は、政府の「社会保障と税の一体改革」のごまかしを批判、「被災者救済・復興と国民の暮らし・福祉を守る政治をつくりましょう」と訴え、街頭では「原発」「年金」ビラを配布しました。

# かけあひ記

六月十一日は、東日本大震災と福島第一原発事故から三カ月、この日に全国で救援・復興募金、原発ゼロへの署名行動がおこな



日本共産党国会議員団北海道事務所 所長 宮内 さとし

## 震災・原発事故から三カ月

六月十三日

いないこと、日本は地熱量は世界三位、水力発電の元となる降水量は世界六位、国土の六割が森林で覆われているので木質系

くれる若者、戻ってきて署名する人、「募金もしましたよ」と署名する人など大きな反応がありました。原発・エネルギー問題、

八十人の青年が集まりました。「若い人の姿を見てがんばろうと思えた」と歓迎され、参加した青年も確信を持ち成長しています。北海道でも報告会をして新たなボランティア登録をはじめますし、

日本共産党北海道委員会が支援を担当する気仙沼市のボランティアにも青年が参加しています。日本共産党の主張と活動を思い切つて青年や学生に知らせることが急がれます。大学前宣伝などベテラン党員の力も借りてがんばる時です。

三十分間でエネルギー分野に使われた税金は、十兆五千億円ですが、原子力関係に七割、新エネルギーには一割しか使って

のバイオマスが使えらな

震災復興問題でも青年

学生の中では大きな関心

今年、ナナカマド、イ

## 中国人慰霊碑敷地周辺で植樹と花植

### 10・9実行委と市民が環境整備



チイ、ハマナス、イボタ、アジサイなど20本とマリゴールド80株が周辺や花壇に植えられました。

昨年、植樹した秋グミ、柏ナラなど40本の殆んどが根を付けて碑周辺の緑を広げています。参加者は手分けして草刈りや慰霊碑の掃除も行い、秋の慰霊の集いを待ちます。

第19回「10・9中国人殉難烈士慰霊の集い」は、10月1日(日)に開催されます。

労働相談を受け付けています  
雇用問題  
110番  
TEL 44-9202

## 第46回 中国人殉難者全道慰霊祭

### 6月26日(日)

13時30分より 慰霊祭  
場所 中国烈士陵园(仁木町霊園内)  
11時00分より 交流会  
場所 仁木町町民センター  
(交流会参加者には昼食がです)

※乗用車に乗り合わせて行きます。参加を希望する方は、ガソリン代等参加費として1500円程度ご用意ください。

連絡・問い合わせ先 事務局 松原 ☎・fax 43-6330